



特集 その後どのように暮らしていますか？

## 心地良い距離感の二世帯住宅





特集 その後どのように暮らしていますか？

# 心地良い距離感の二世帯住宅

東京都文京区 | 木造二世帯住宅 (i-works) | A 邸 + K 邸 (ご両親 + ご夫婦)

敷地南側に大きく取られたお庭。家と一体となり、引き立て合います。



## 1 ストーリー

今回ご紹介するのは、完成してから1年半ほど経つ A 様と K 様の二世帯の住まい。都心に立地しながら、蝶がひらひらと舞う豊かな庭が暮らしを彩ります。A 様ご夫婦と相羽建設とのお付き合いは10年ほど。「こういう家に住みたかったんだ!」

と A 様ご主人が気に入ってくださった<sup>※</sup>「木造ドミノ住宅」の家が1軒目。そして今回が相羽建設と建てた2軒目の住まいとなりました。娘さんご夫婦である K 様と同居。互いに良い距離感を保つポイントや、それぞれの暮らしぶりを伺いました。

※木造ドミノ住宅…家族の成長に合わせて暮らせる、シンプルな木の家。





## 2

### 心地良い暮らしを引き継ぎ、新たな楽しみがプラス

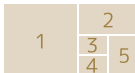
A様ご夫妻（親世帯）

アメリカ在住時に購入したダイニングテーブルやご主人が今も大事に残してある本など、家族と共に育ってきた物たちが囲む2階のリビング・ダイニング。こちらに何十年も住んでいらっしやったかの

ように、A様の暮らしと住まいが馴染んでいます。「3階建てにして南側を開けることで、住宅密集地でも呼吸できる感じに」とご主人。1階の寝室も明るく驚かれているそう。設計は、以前の住まいの点

検をしていた中村が担当。「バリアフリーに関しても意見が合って。手に合わせて手摺りを細くしてもらいました」と奥様が笑顔で振り返ります。2軒目ということで修正点ばかりかと思いきや、変更は掃除

しやすいよう水廻りにタイルを貼っただけ。「前のような家を建てたかったんです」と嬉しいお言葉を頂戴しました。新しい環境でも、町内会の活動や庭仕事など、充実した日々を送っていらっしやいます。



1.南向きの窓から燦々と陽が入るリビング・ダイニング。2.キッチンからの眺め。左側に和室が。3.和室は3畳で十分な広さ。4.明るい階段にも本棚を設置。5.ご主人ご希望の広いバルコニーも緑で溢れます。





### 3

## 「暮らす」と「働く」をつないだ住まい

K様ご夫妻(子世帯)

家で仕事をなさるご夫婦のご希望は、プライベートと仕事とを分けることでした。「ワークスペースを設けたことで、ON・OFFを切り替えられています」とご主人。3階のリビング・ダイニングは、A様邸とほぼ同じ間取りですが、ご夫妻の趣味の物で彩られ、異なる雰囲気

に。「特にキッチンや水廻りがお気に入り、使う度に好きだなと感じます」と奥様。日当たりと断熱性の良さに、ご主人も「何をするにも豊かになりました。お酒がより美味しいです」と満足気にお話しく下さいました。寛ぐ猫ちゃんからも快適さが伝わってきます。



右頁 1.作られた場所も時代も異なる家具が並ぶリビング・ダイニング。2.2階のワークスペース。3.MARUNI COLLECTION × minä perhonenのソファは奥様お気に入り。4.青タイルが爽やかな洗面スペース。猫ちゃんがちらり。



2階はA様のリビングとK様のワークスペースが扉を隔てて行き来できるようになっている。





4

## 風が抜ける居心地の良い場所



1.バルコニーが底となったポーチ。2.綺麗に並んだお庭の道具たち。3.お庭の施工はアルテ造園。4.塀は作らずオープンに。

1  
2 3 4

## ポーチ前に広がる 心和むお庭

「蝶が集まるように」とA様の奥様が土作りから手を掛けるお庭。シンボルツリーのヤマボウシは、以前の住まいで最初に植えた思い出の木です。草花や蝶を見に、近所の子どもたちが訪れるそう。



## 気配を感じながら いい距離感で暮らす



敷地は、A様ご主人の実家で、K様も暮らしていた縁のある場所。こちらに二世帯住宅を建てるのは、自然な流れでした。「音を遮ることが二世帯住宅のポイント」と中村。一つ屋根の下でもプライバシーを保ちつつ、家族のつながりを感じられる住まいを実現しました。

1.グリーンカーテンが目を引く外観。2.A様奥様の手作りアップルパイをいただきました。3.A様とK様。ポーチで記念撮影。

1  
2  
3



## 取材後記

「私たちが建物の形を決める。その後は建物が私たちを形作る」。今回拝見したお住まいの開放感が、A様とK様のお人柄や暮らしぶりとフィットしていて、イギリスの政治家ウィンストン・チャーチルが残したこの言葉を思い出しました。貴重なお時間をありがとうございました!(記:ライター 大川)



設計・施工:相羽建設/撮影取材・編集:中村・伊藤・吉川・大川  
ainoha/バックナンバー <http://aibaeco.co.jp/100story/life/>





特集 その後どのように暮らしていますか？

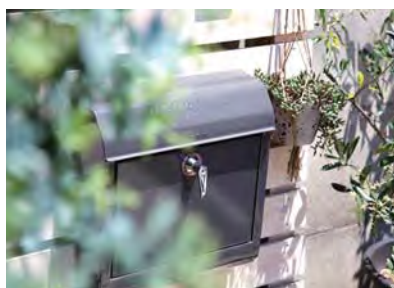
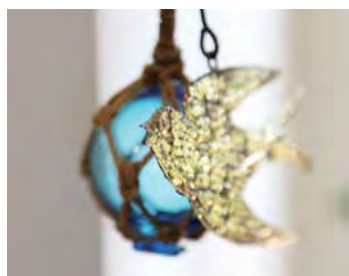
# 中庭がつなぐ二つの暮らし



特集 その後どのように暮らしていますか？

# 中庭がつなぐ二つの暮らし

東京都西東京市 | 木造一戸建て | H邸(ご夫婦+お子様1人)&K邸(ご夫婦)



木造ドミノ住宅

i-works

今回は二つの  
住まいを同時紹介



## 1 ストーリー

白と黒、ふたつの対称的な外観の住まい。外壁のきれいなコントラストと中庭の植栽が風にゆらけている様子に、とても爽やかな気持ちになりました。さて、今回ご紹介させていただくのは、こちらに住みはじめて1年半ほど経つ、奥様同士が姉妹のH様・K様ご家族の暮らしぶり。奥様はもちろんご主人同士も仲良しのみなさんに、それぞれのライフスタイルについてお話を伺いました。





## 2 暮らしをつなぐ中庭

「何かあったときにすぐに助け合える距離感が安心で。両親が早くに亡くなったこともあり、姉妹二人で協力できるように、思い切って隣同士に家を建てることにしたんです」と当時の家づくりを振り返る奥様。さらに、せつ

かくなら共有のスペースをつくろうと、二つの家の間に中庭を設けました。平日以外はほとんど一緒にご飯を食べているというみなさん。「それぞれの家で食べたり、天気の良い日はキャンプ道具をひろげて、中庭の

デッキでバーベキューをすることもありますよ!」ご主人。この日もH様の息子さんとプードルのチャイちゃんが、家同士を行き来して楽しそうに走り回っていました。家族の笑顔をつなぐ素敵な場所です。





## H邸

(ご夫婦+お子様1人)

木造ドミノ住宅



### 暮らしに緑をそえる

H様の家は、自分たちらしく暮らしに手を加えられる「木造ドミノ住宅」。質感や形が異なる家具の素敵な組み合わせに、ご夫婦のセンスを感じます。家の中には大小様々な緑が飾られていて、「いずれはもっとグリーンを増やしてジャングルみたいにしたいんです」とご主人。住んだあとの暮らしの変化も楽しみの一つですね。



### お洒落で使いやすいキッチン

フードスタイリストの奥様。パントリーには日常品だけでなく、お仕事用の食器やクロスも種類別に収納されていました。可愛い黄色の壁タイルはご自身で探されたのだそう。勝手口は庭のデッキにつながっていて、回遊性も抜群！



### 便利な玄関周り

キャンプ好きのご夫婦のために、車への道具の出し入れが容易な土間収納。また、玄関を入ってすぐ横に洗面台があるのも便利なポイントです。







## K邸

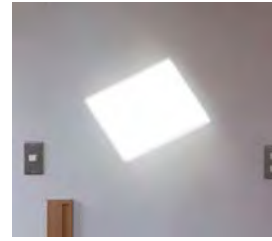
(ご夫婦2人)

i-works



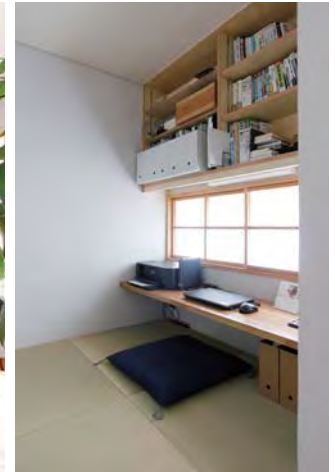
## シンプルに暮らす

K様の家は、シンプルに美しく暮らす「i-works」。相羽建設のi-worksモデルハウスにはじめて訪れたときに一目惚れしたというK様ご夫婦。「共働きなので、2人とも仕事から帰ってからこの家でゆっくりつろぐのが毎日の楽しみなんです」とにっこり笑顔。お酒をたしなむご主人は、ソファでくつろぎながら至福の一杯を。



## それぞれの居場所

家のどこにいても、落ち着ける空間のあるK様のお住まい。窓の外の紅葉を眺められる浴室や、非常時にも便利な収納倉庫も見せて頂きました。部屋ごとにそれぞれの役割があって飽きることがない、安心感のある居心地の良い家。



左上:リビングダイニング。右上:籠れる書斎スペース。左下:落ち着いた和室。下中央:玄関脇にある収納倉庫。右下:紅葉の見えるサワラのお風呂。

## 取材後記

対称的なお住まいでしたが、どちらのライフスタイルもとても素敵でした!そして、二つの家族をつなぐ中庭の存在もすごく印象的で、共有スペースがあることで暮らしの豊かさがひろがるのだなぁと感動した一日となりました。これからの暮らしぶりも楽しみですね。(記:広報 吉川)



設計:相羽建設(中村 健一郎)

撮影取材:伊藤・吉川 ainoha/バックナンバーはこちら→<http://aibaeco.co.jp/photo/ainoha/ainohabackno/>





ainoha

— アイバノコトノハ —



特集 その後どのように暮らしていますか？

## 身近に火のある暮らし

take free  
ご自由にお持ち帰りください

2016 \* December vol.60



特集 その後どのように暮らしていますか？

# 身近に火のある暮らし

東京都三鷹市 | ご両親+ご夫婦+お子様2人 | 木造二世帯住宅



## 1

### ストーリー

建て替え、家に住みはじめて8年が経った、S様ご家族の暮らしを訪ねました。

同居するご主人のご両親が、この地に移り住んできたのは50年ほど前のこと。当時家の周りには建物が何もなく、バス停へ向けて川沿いを歩く家族の姿を、ずっと手を振って見送ることができたそうです。S様はここで生まれ育ち、家族と一緒に永くこの家に住み続けてきました。時間の流れと共に周辺の街の風景が変化していき、この家も築40年ほどが経とうとしていました。そんな中、ご両親やご主人にとって思い出深いこの場所で、引き続き家族と一緒に心地よく過ごせるように——と、「二世帯住宅」への建て替え計画がはじまったのです。





S様ご家族(子世帯)が暮らす2階リビング・ダイニング。  
新ストーブ横の小上がりになった畳コーナーやご主人の  
書斎など落ち着ける空間になっています。

## 2

### 家づくりの出会い

家づくり検討中に雑誌でOMソーラーを知り「面白い!」と感じたというS様。すぐに近くで施工してくれる工務店を探したところ、相羽建設と出会ったそうです。「元の家も大工さんが建ててくれた家だったので、自然と地元の工務店で建てることを視野に入れていました。距離も近いのでメンテナンスも安心だなあと感じて」とお話しされる奥様。そして「最初に営業部の照美さんが対応してくれました。家づくりの悩みや言いづらいことも全部オープンに話せて、受け入れてくれたことにとても安心しました」との嬉しいお話も。そんな奥様と照美さんは8年経った今でも気さくな仲です。



### 3 身近に火のある暮らし

一生に一度の家づくり。最初はモデルハウスを見学したり、ご夫婦で資料を持ち寄って話し合うも、お互いに納得のいく暮らしのイメージがなかなか見つからなかったというS様。そんな中、目に止まったのが、建築家の松原正明さんが設計した住まいの“薪ストーブのある暮らし”の写真でした。炎のゆらめきやゆっくりと流れる時間……一目見てご夫婦で「これだ!」と意見が一致したそうです。「主人はキャンプ好きだったり、私は実家に火鉢があったり、お互いに共通していたのは『火が身近にある暮らし』だったんです。当時は共働きで、家ではゆったり過ごしたいと思っていたので、別荘のような雰囲気の家も設計されている松原さんをお願いすることにしました」と当時を振り返る奥様。

二世帯住宅をベースにしたプランは、2階リビングに薪ストーブを設置。また、生活時間がそれぞれ異なる家族のために、キッチンやお風呂場などの水回りは二つにしつつ、「家族が毎朝顔を合わせられるように」と玄関は一つになりました。

二世帯がそれぞれのペースで生活ができ、いつでもお互いの顔を合わせられる。みんながほど良い距離間で過ごせるS様の暮らしは、毎日が家族の笑顔で満ちています。



- 1,3…ゆったりとした2階リビングの空間
- 2…薪ストーブで暖まる柴犬のカイ君
- 4…1階リビングでくつろぐご両親





## 4

### 住まいの見どころ紹介



#### ▲ 薪ストーブの温もり

家の中でも「炎のゆらぎ」をポーッと眺めていたくて北欧製の薪ストーブ、愛称は「みいくいアヒルの子」をいれました。やさしい温もりで家族はいつもリビングで過ごしているようです。薪ストーブのご縁で奥様は※「東京ストーブ」さんで温もりの輪を広げています。「時代の中で変わっていくものもあれば、火のように昔から変わらないものもあって、それらを上手に暮らしに取り入れていけたらいいなあって」と笑顔の奥様。

※「東京ストーブ」さんについてはP.16のお店紹介にて掲載中。

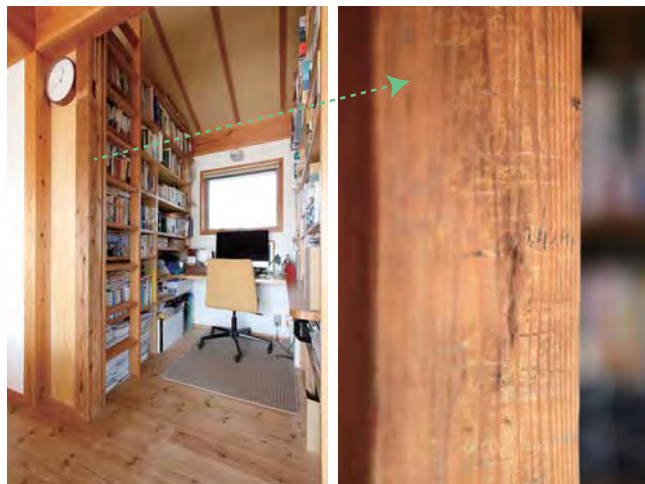
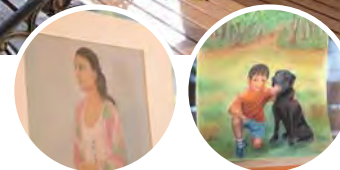


#### 暮らしを楽しむ ▶

ずっと外にいたくなるような、緑に囲まれた1階のウッドデッキ。つい最近、木部をお父様が全部再塗装をしました!とても綺麗な仕上がりです。また、お母様も絵画教室に通っていて、家の中にはたくさんの素敵な作品が飾られていました。とても元気でキラキラしている活動的なお二人。



お母様がカルチャースクールで制作した作品の数々→



#### ◀ 思い出をつなぐ

2階リビングとつながる家族共有の書斎スペース。天井まである本棚にはS様の本がズラリと並んでいます。書斎入口には旧家の柱を化粧柱として使用。よく見るとS様の子ども時代の身長を刻んだ跡も……!

#### 取材後記

S様の家には、書斎の柱をはじめ、玄関にある開き戸の取手や仏壇の木部など、旧家で使っていた部材が家のあちこちに取り入れられていました。昔の思い出が新しく建てた家にも残るって、とても素敵です。古い柱と新しい柱が隣同士で一緒に年月を重ねていく様子もまた家の魅力になっていくのだなぁと感じました。(記:広報 吉川)



松原正明建築設計室 →<http://m-matsubara.s2.weblife.me/index.html>  
取材:伊藤・照美・吉川 取材後記はコチラ → <http://ameblo.jp/ainohablog/>



S様の旧家



特集 その後どのように暮らしていますか？

## 2世帯で暮らすリノベーション





特集 その後どのように暮らしていますか？

## 2世帯で暮らすリノベーション

埼玉県所沢市 | N邸(ご夫婦+お子様+奥様ご両親) 木造2階建てリノベーション



2世帯が気持ち良く  
暮らせる家になりました!

### 1

#### 家づくりストーリー

今回で紹介するのは、築31年のお住まいをリノベーションしたNさまの暮らし。

家の周辺には湖や森があり、自然に囲まれた気持ちの良い場所です。以前、お散歩がてら近くの住宅見学会に参加したことで相羽建設を知り「障子が使っているシンプルなおうち、すっこく

好きだな」と印象的だったというNさま。その後、家の老朽化や奥様のご両親との同居を機にリノベーションを決意されました。「ずっと住んできた家、どんなことが出来るんだろう」。まずはご家族の生活スタイルや予算に合ったプランをNさま達と一緒に考えることからはじまりました。



家の前ではご主人の  
カッコいいジープがお出迎え!





にぎやか!

## 2

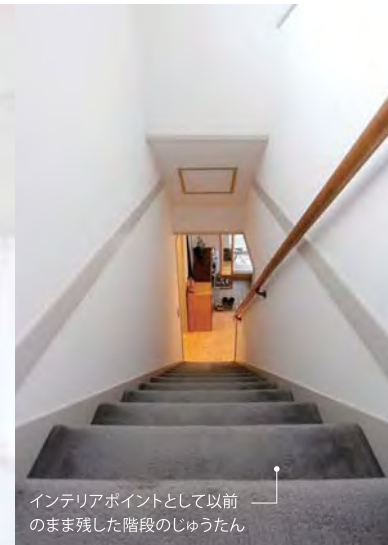
### 住みながらの工事

「限られた予算で“直さなければいけないところ”と“夢を描く暮らし”を家族で一枚の紙にまとめました」とNさま。キッチンオープンにしたい、室内から愛車のジープが見えるオシャレな家にしたい、家族の絆が感じられる家にしたい……家族5人のそれぞれの想

いを込め、いよいよ工事がスタート。実際に住みながらの工事でしたが「職人さんたちとの距離も近く、現場の様子もよくわかりました。塗装中は匂いがすることもあったけれど、音はそんなに気にならず、大工さんや職人さんとも顔なじみになって安心できましたよ」と

Nさま。5ヶ月の工事が終わり、リビングはいつもみんなが集まる場所に。これまで使わなくなっていた部屋は家族それぞれがくつろげる部屋になりました。「リノベをしたことで全部の部屋が活かされて、それが嬉しい」とお話しされていたのがとても印象的でした。

living room



インテリアポイントとして以前  
のまま残した階段のじゅうたん



壁に取り付けた飾り棚には、ご主人お気に入りのプレート



### 3

## ここをリノベーションしました!

### 1階キッチン・リビング



After

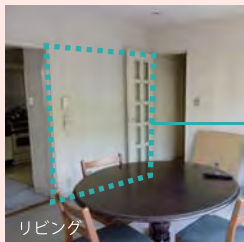
以前は、流しやガス台が壁側を向いていて、部屋として独立していたキッチン。中に入るとリビングの様子が分らず料理をしても孤独感がありました。そこで、リビング側の壁を解体し、対面になるようシステムキッチンを新しく取り付けま

した。奥様が本をみて気に入ったキッチン、白でまとめた空間と深く吊戸棚をつけていないことで見栄えもスッキリ。引き出しの中も整頓され素敵な食器が綺麗に並んでいました。お料理の時間が楽しくなるような居場所です。



Before

キッチン



リビング



工事中

それぞれの部屋の  
リフォームエピソードを  
お話します!



現場監督: 和田 宏康

キッチンとリビングを隔てる壁を無くしました。キッチン角の柱も新しく入れ替えてあります。

8帖の和室+縁側だった2階の部屋は、床や梁を新しいものに替え、2つの寝室をつくりました。スッキリと整理されたクローゼットには扉をつけず、部屋を広く感じさせています。冬の寒さが気になる北側の窓には、断熱効果の高い内窓を設置しています。



Before

天井に隠れる予定だった  
大き目の梁をあえて  
見せるおさめ方に。



2階子ども部屋

After

### 2階キッチン・ダイニング



After

2階角部屋は奥さまのご両親のキッチン・ダイニングスペースとなりました。「せつかくなら見せるキッチンにしたい」とご希望で壁面をタイルにし、インテリアとしても素敵な雰囲気。以前、絨毯だった床は、素足が気持ち良いパイン材としました。



元々の窓の内側にも  
もう一つ窓をつけて  
断熱性能UP!



Before

### 取材後記

ご主人が学生のときに建ったこの家に、家族の成長とともに各々の部屋が住み継がれて、家族の歴史が紡がれてきました。今回のリノベーションでは手を付けなかった箇所も(ご家族の間では「昭和の部屋」と呼ばれている!)大切に使われていました。「すべての部屋が活きている」との言葉のように家族の絆が感じられる、とても素敵なお宅でした。(文:広報 河野)



「楽しい貴重なお時間をありがとうございました!」

取材: 和田・照美・河野・吉川 取材後記はコチラ→ <http://ameblo.jp/ainohablog/>

ainoha 2015\*november-07